“ちばの魅力”を世界にアピール！ Spread the charm of Chiba around the world!

日本百選 of ちば

千葉県PRマスコット
キャラクター チーバくん
千葉県許諾 第A3-11号

◆今回の日本百選

第16回 新日本名木100選

千本公孫樹（せんぼんいちょう） 市川市

日本百選 of ちば

新日本名木100選とは?

新日本名木100選は、大阪市と読売新聞社が1990年に共同で企画した、全国に存在する名木の100選です。知名度の高い巨木や老木が選出されており、「地域住民と共に生きてきた木」という視点から由緒ある神木なども多数選出されています。

県内では、市川市の「千本公孫樹(せんぼんいちょう)」のほか、鴨川市の「清澄(きよすみ)の大スギ」と君津市の「賀恵淵(かえふち)のシイ」が選定されています。

市川市の葛飾八幡宮境内にある千本公孫樹(せんぼんいちょう)が新日本名木100選に!

葛飾八幡宮
宮司 持田 篤史さん

葛飾八幡宮の創建は平安朝の時代。その歴史は千年以上になります。下総の国総鎮守八幡宮として深く信仰され、平将門(たいらのまさかど)の奉幣、源頼朝(みなもとのよりとも)の社殿改築、太田道灌(おおたどうかん)の社壇修復、徳川家康の御朱印地社領52石の寄進等、時代を超えとても大切にされてきました。

その境内にある「新日本名木100選」に選定されているご神木、千本公孫樹は1931年(昭和6年)、国の天然記念物に指定されました。樹高23m、根回り10.2mの巨木で、樹齢は1,200年とも言われています。古くは江戸名所図会(えどめいしょずえ)にも紹介されており、当時からまちの名所、シンボルであったことがわかります。

古来より白蛇が棲むとの伝説があり、その姿を見かけたものは幸福、長寿を授かるとも言われています。「気根」と呼ばれる乳房の形に似たコブがあり、これを削り、煎じて飲むと乳の出が良くなるとの言い伝えから、育児守護の信仰の対象ともなっています。また多くの幹が寄り添って支えあっている姿から縁結びのパワースポットとしても有名で、カップルや女性の来訪者も多くいらっしゃいます。

千本公孫樹は四季それぞれ全く違った表情を見せ、来訪者は、その変化する姿に季節の到来を実感するでしょう。葉が黄色く色づく秋も素晴らしい姿ですが、新緑の芽吹く春の季節の姿も魅力的です。皆さんもぜひ、四季折々の美しさを見せるご神木を見に、ご来訪されてみてはいかがでしょう。

◆千本イチョウの四季

葛飾八幡宮にある有形文化財と文化伝承

随神門（市川市指定有形文化財）

明治維新前の随神門は、天台宗上野寛永寺の末寺、八幡山法漸寺の仁王門でした。明治維新の神仏分離によって葛飾八幡宮の随神門となりました。両裾に位置する随神（右大臣・左大臣）のある場所には仁王像がありましたが、現在は行徳の徳願寺に遷されています。

和様※1、木造単層切妻※2の構造をもち、屋根はかつて茅葺きでしたが、2002年（平成14年）8月、塗り替え修復工事が行われ、銅葺きに生まれ変わりました。三間一戸※3の美しい朱色に丹塗りされた姿は、桁行10.36m、梁間4.45mです。春には桜、秋には黄色いイチョウの葉が彩りを添えます。

※1.和様／鎌倉時代以前から日本で行われてきた建築様式のこと。
※2.木造単層切妻／屋根に2方向の勾配を付け三角形（妻壁）を形取りしたシンプルな木造屋根のこと。
※3.三間一戸／門の規模などを示すもので、間口が約5.5mで中央を出入り口とした門のこと。（一間：約1.82m）

八幡の藪知らず

葛飾八幡宮の門前からほど近い、国道14号をはさんだ市川市役所（新第1庁舎2021年〈令和3年〉1月に完成予定。現在は仮庁舎）の向かい側、鳥居と祠に護られた小さな竹藪があります。ここには、一度はいったら二度と出てこられなくなるという伝承があります。広辞苑にも「八幡の藪知らず」の項目があり、「ここに入れば再び出ることができないとか、祟りがあるといわれる。転じて、出口のわからないこと、迷うことなどにたとえる」と記されています。江戸時代に著された地誌や紀行文にも「八幡不知森」として記載されています。

▲月岡芳年　画　「不知八幡森之実怪」

歌舞伎の演舞「黄門記八幡大藪」は、1878年（明治11年）11月の題材になり、興行広告の錦絵（3枚組）として「不知藪八幡之実怪」（月岡芳年／画）が知られています。

●交　通／電車の場合→《JR/都営新宿線》本八幡駅より徒歩約10分。《京成電鉄》京成八幡駅より徒歩約5分。
車の場合→京葉道路市川ICより約15分。
●駐車場／無料（30台）　※台数に限りがありますので、参拝には公共交通機関の利用をおすすめします。
※その他、くわしくはWebサイトをご確認ください。https://www.katsushikahachimangu.com/

●問い合わせ／葛飾八幡宮　市川市八幡4-2-1 TEL.047-332-4488

元亨の梵鐘（千葉県指定有形文化財）

この梵鐘は1793年（寛政5年）1月19日、境内のケヤキの大樹が暴風で倒れた際、その株根から出土したと伝えられています。

印刻されている銘文から当宮の創建年代、社殿の位置などを知ることができます。1321年（元亨元年）12月17日、右衛門尉丸子真吉によって寄進されたものですが、梵鐘の笠形の部分には字体の異なる細字で「1421年（応永28年）3月21日」と三行に刻されており、この刻銘が何を意味するのかは、諸説あって未だに解明されていません。

葛飾八幡宮の主な催事と御朱印

◆茅の輪くぐり

毎年12月31日に執り行う年越しの大祓式で、茅の輪をくぐって厄払いする儀式です。

夕方6時に太鼓の合図で神事が始まります。人型の紙に、自分の名前と、年齢を書き三度息を吹きかけて、今までの身の穢れを人型につけてから、茅の輪をくぐります。

◆千本公孫樹のライトアップ

毎年恒例の葛飾八幡宮の千本公孫樹のライトアップ。2019年（令和元年）は、11月22日（金）から24日（日）まで行われ、イチョウの下ではライブイベントが披露されました。

◆御朱印帳と御朱印

▲御朱印帳

▲御朱印

千本公孫樹と八幡宮の扁額がデザインされている御朱印帳。御朱印は神門左の授与所で受け取ることができます。初穂料は、御朱印帳が1,500円、御朱印が300円。

日本の花火&夏祭り100選に選定されている

市川市民納涼花火大会

毎年8月の第1土曜日に行われている「市川市民納涼花火大会」は、東京都江戸川区の「江戸川区花火大会」と同時開催の花火大会です。約1万4,000発もの花火が打ち上げられる大規模な花火大会で、8つの異なるテーマに合わせたBGMと光の競演や巨大で華やかなスターマイン、仕掛け花火など多彩な花火を楽しむことができます。

なお、2020年(令和2年)は東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、花火大会(第36回)開催日が5月23日(土)と例年より2ケ月以上前倒しになっています。

《第36回 市川市民納涼花火大会情報》

●打ち上げ数／約14,000発　●打ち上げ時間／ 75分
●前年の人出／約49万人(市川市側のみ)
●開催日時／ 2020年5月23日(土)19:15 ～ 20:30
●有料席／桟敷席:最大4名18,000円、ペア席:2名9,000円～ 10,000円、イス席:1名6,000円。
●打ち上げ場所／ JR市川駅南口から徒歩15分。または、本八幡駅南口から徒歩約30分。その他、京成トランジットバス市川駅行きで約10分、大洲防災公園下車すぐ。
※当日は会場周辺で交通規制を予定。(車での来場不可)

※その他、くわしくはWebサイトをご覧ください。
http://www.ichikawa-hanabi.jp/

●問い合わせ／ TEL.047-711-1142
市川市民納涼花火大会実行委員会事務局

◆市川市民納涼花火大会 “オリジナル手拭い(3種)”を販売中!!

市川市では、「市川市民納涼花火大会」を、より心に残る思い出にと、“オリジナル手拭い(3種類)”を販売しています。

①1,000円(税込)　②1,000円(税込)　③1,500円(税込)

●サイズ／ 93cm(縦)×35cm(横)
●販売所／**いちかわ観光・物産案内所**
市川市市川1-1-1 TEL.047-324-7751
●営業時間／ 10:00 ～ 16:00
●定休日／毎月第1月曜日
(祝日に当たる場合は直後の平日)
年末年始(12月29日～ 1月3日)

葛飾八幡宮周辺の立ち寄りスポット!

「日本の夜景100選」に選定されている

●市川市アイ・リンクタウン展望施設

▲「新日本三大夜景」にも登録されている展望施設からの夜景

「I-linkタウンいちかわ」ザ・タワーズ・ウエスト45階の展望施設は、地上150mから360°の大パノラマを見渡せるビューポイント。好天なら東京スカイツリーと富士山のツーショット、東京湾、都内高層ビル群も一望できます。

※その他、くわしくはWebサイトをご覧ください。
http://www.city.ichikawa.lg.jp/eco04/1111000055.html

●所在地／ 市川市市川南1-10-1
●問い合わせ／**市川市経済部観光プロモーション課**
TEL.047-711-1142

京葉銀行
本八幡支店
市川市南八幡4-5-8
TEL.047-378-2511

《日本百選 of ちば》今月の誌上クイズ

※答えは、京葉銀行のホームページにある、「日本百選 of ちば」の第16回をご覧ください。

古くから知られた葛飾八幡宮の「千本公孫樹」は、江戸時代の通俗地誌でも紹介されていました。寛政年間(1789年～1801年)より30余年かけて出版された、挿絵がふんだんに入った神社、仏閣、名所、旧跡などが記述された全7巻20冊発行の通俗地誌の名称は何でしょうか？　次の3つの中から正解を1つ選んでください。

①江戸名所図解(えどめいしょずかい)
②江戸名所図会(えどめいしょずえ)
③江戸古版地誌(えどこはんちし)

取材協力・写真提供・撮影協力／ 葛飾八幡宮　市川市経済部観光プロモーション課　市川市民納涼花火大会実行委員会事務局　いちかわ観光・物産案内所

2020.1(次回発行／ 2020年2月20日)

正解は→② 江戸名所図会(えどめいしょずえ)

京葉銀行 BANK

ホームページでもご覧いただけます。
京葉銀行　情報誌　検索

LINEからも「日本百選 of ちば」を配信しています。
LINE@ 京葉銀行 公式アカウント